

景気見通し調査結果報告書

調査期間 平成 28 年 12 月

小 松 商 工 会 議 所

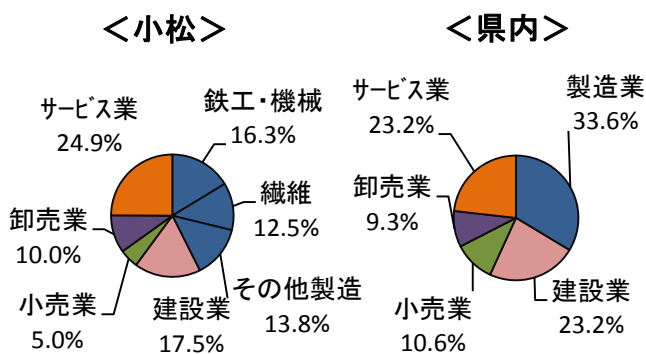
中 小 企 業 相 談 所

【調査対象】

小松商工会議所 議員・評議員企業 212社

回収率 80企業（回収率 37.7%）

業種	小松	県内
鉄工・機械	13	155
繊維	10	
その他製造	11	
建設業	14	107
小売業	4	49
卸売業	8	43
サービス業(運輸含む)	20	107
合計	80	461



景況・業況の動向

【主要な表現について】

※業況判断 …… 調査対象企業が自らの業績に下した判断

※DI 値 ……DI (デフュージョン・インデックス)とは企業の景況感を示す指数
「好転」の割合から「悪化」の割合を差し引いた値(無回答を除く)

※前 期 ……平成 28 年度第 2 四半期(平成 28 年 7 月～9 月)

今 期 ……平成 28 年度第 3 四半期(平成 28 年 10 月～12 月、但し 12 月は見込み)

来 期 ……平成 28 年度第 4 四半期(平成 29 年 1 月～3 月)

【各項目別の DI 値の意味について】

- (1)景 況 感……………DI 値がプラスなら「好転」を、マイナスなら「悪化」を表す。
- (2)売 上 高……………DI 値がプラスなら「増加」を、マイナスなら「減少」を表す。
- (3)売上単価……………DI 値がプラスなら「上昇」を、マイナスなら「低下」を表す。
- (4)資金繰り……………DI 値がプラスなら「好転」を、マイナスなら「悪化」を表す。
- (5)採算性(経常利益) ……DI 値がプラスなら「好転」を、マイナスなら「悪化」を表す。

(1)-1 貴企業の景況感

(単位:社)

	鉄工・機械		繊維		その他製造		建設業		小売業		卸売業		サービス業	
	今期	来期	今期	来期	今期	来期	今期	来期	今期	来期	今期	来期	今期	来期
好 調	5	1	0	1	1	1	1	2	1	0	0	0	3	3
不 変	6	12	5	6	9	10	9	7	2	3	4	7	14	14
悪 化	2	0	5	3	1	0	4	4	1	1	4	1	3	3
無回答								1						
総 計	13		10		11		14		4		8		20	

Q「景況・業況の動向」の項目における「景況感判断」に関する理由

好転の選定理由

一部の商品の受注増により（製造業）
受注増加により売上・利益好転（製造業）
資源価格の上昇が始まった（製造業）
以前からの営業活動により、仕事が集中して入った（建設業）
新幹線関連工事が若干スタートした（建設業）
新幹線開通による間接的効果を見込む（小売業）
相場好転（サービス業）
単価アップが目に見えて増えている（サービス業）
秋口から全国的に物量が増加しており、稼働率が上昇した（サービス業）

不変の選定理由

事業は概ね計画通り（製造業）
まあまあの状況が続いている（製造業）
ここ数年は変わらず推移している（製造業）
建機(コマツ)の方は、3月まで前期より海外向けが増加しているため（製造業）
内地の消費動向が良くない（製造業）
売上高減少により収益性は低下しているが、燃料費の単価がこれまで低く推移していることで、製造原価が抑えられ採算性に寄与している（製造業）
バスに対する需要はここ一年高水準で不変（製造業）
観光バスの需要好調（製造業）
民間建設投資量の減少（建設業）
単価、仕事量も変わらず（建設業）
やや上向き(物件数が多い)ではあったが、好転とまでは行かない（建設業）
10月、11月まずまず、12月少しダウン（小売業）
主力の建設機械市場が低水準の生産が続いている（卸売業）
年末の忘年会など、他の月にないものが多いため（サービス業）
12月からH29.3月まで忘・新年会・送別会の予約があるため（サービス業）
当社では、ならずとあまり変わらない（サービス業）
取引先の拡大（サービス業）

悪化の選定理由

第2四半期まで良かったが、第3に入ると悪くなった。ただ来年4月からは良くなってくるだろう（製造業）
産機プレス大幅減少(70%減)（製造業）
可処分所得の減少により消費が低迷、物を買いたい低所得者の消費が低迷。全国的に不要な物、不急な物の消費は低迷状態（製造業）
高齢化と人件費の高騰（建設業）
公共工事の元請工事の減少(工事件数の少なさ)（建設業）
大企業の進出による競争の激化（小売業）
野菜などの高騰により、日用雑貨品の買い控えが目立つ（卸売業）
全体としては変わりないが、卸部門の売上が減少傾向にあるため（小売・卸売業）
公共工事の減少（サービス業）

(1)-2 DI値

(単位: DI)

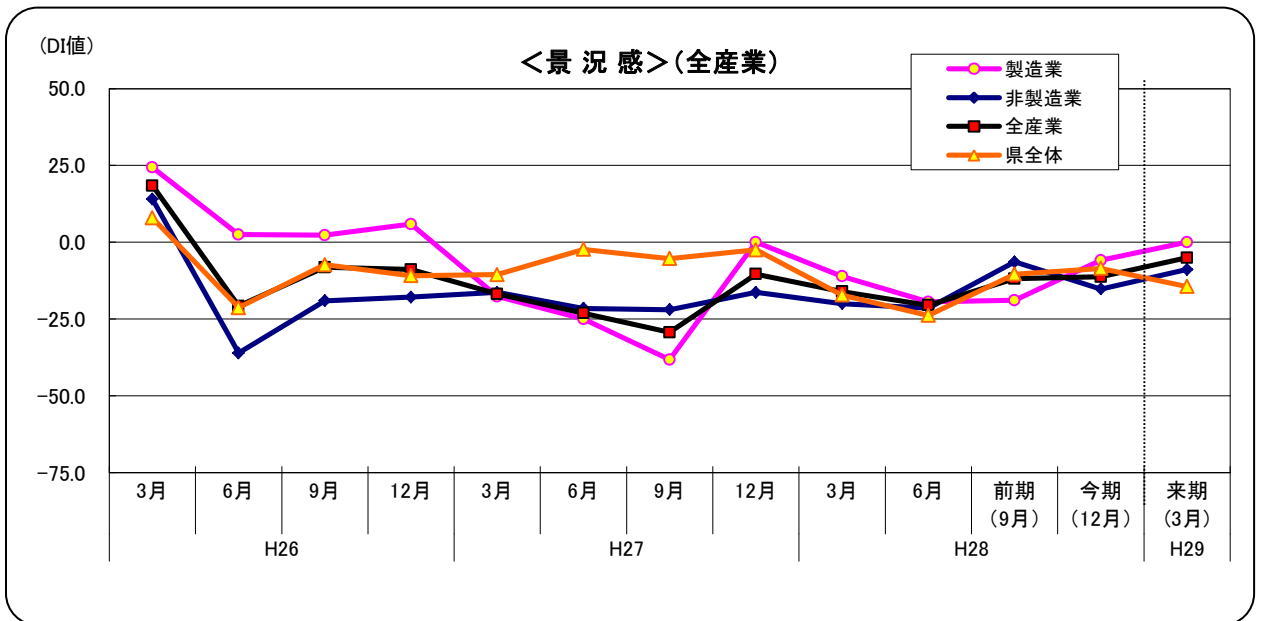
		前 期		今 期		来 期	
		小松	県内	小松	県内	小松	県内
製 造 業	鉄工・機械	7.1	—	23.1	—	7.7	—
	繊維	▲ 55.6	—	▲ 50.0	—	▲ 20.0	—
	その他製造	▲ 21.4	—	0.0	—	9.1	—
	製造計	▲ 18.9	▲ 14.7	▲ 5.9	0.6	0.0	▲ 7.2
非 製 造 業	建設業	▲ 25.0	▲ 1.8	▲ 21.4	▲ 8.4	▲ 15.4	▲ 17.5
	小売業	▲ 20.0	▲ 20.0	0.0	▲ 22.4	▲ 25.0	▲ 35.4
	卸売業	33.3	▲ 10.2	▲ 50.0	▲ 7.0	▲ 12.5	▲ 14.0
	サービス業(運輸含む)	▲ 5.9	▲ 8.2	0.0	▲ 15.9	0.0	▲ 12.6
	非製造計	▲ 6.4	▲ 8.3	▲ 15.2	▲ 13.1	▲ 8.9	▲ 18.2
全 体		▲ 11.9	▲ 10.4	▲ 11.3	▲ 8.5	▲ 5.1	▲ 14.4
改善予測		9.4	4.1	6.2	▲6.0	—	—

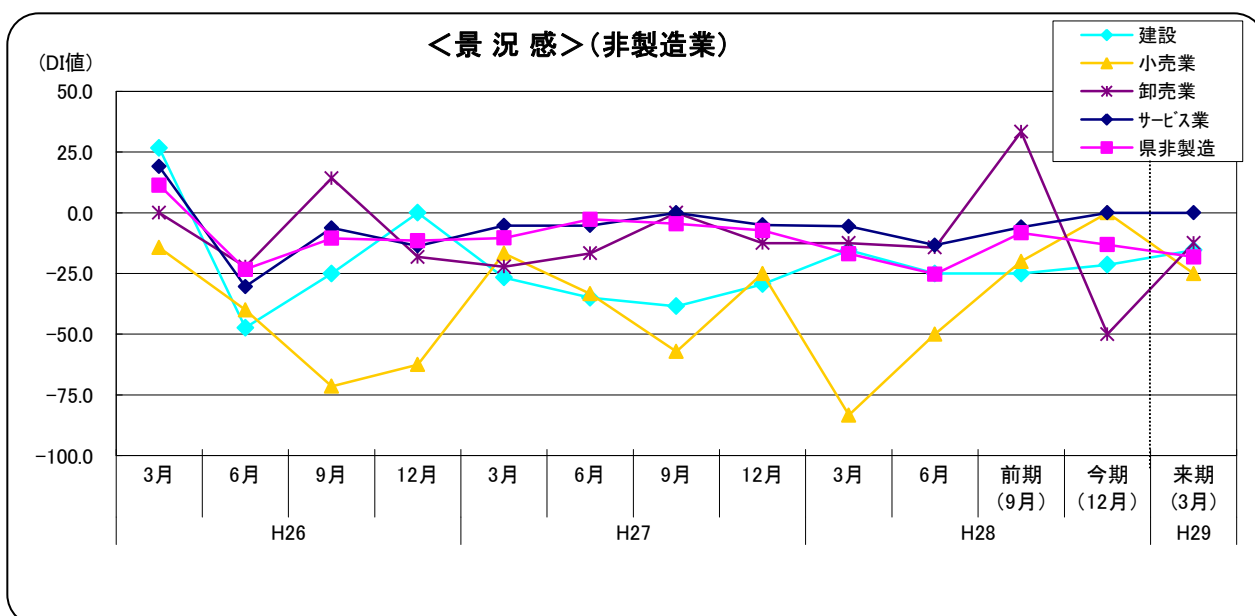
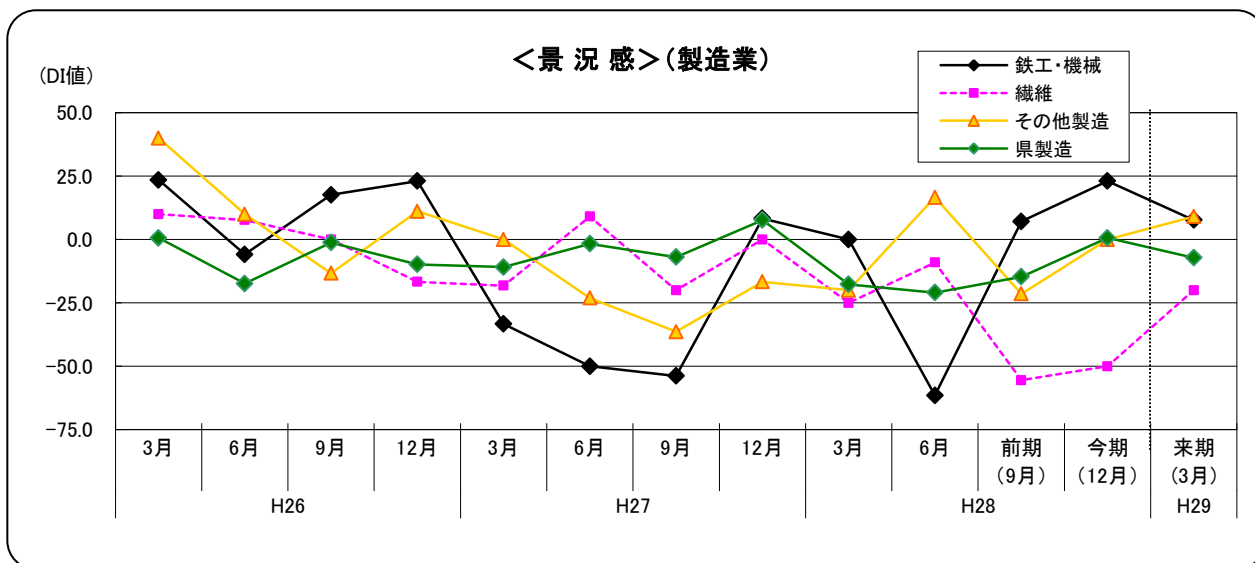
※改善予測（「来期」見通しから「今期」を差し引いた値、プラスの場合は今期より来期の方が上昇するという予測）

製造業については、鉄工・機械では前期 7.1 ポイントだったが、今期は 23.1 ポイントと回復、また来期は慎重な見通しを示している。繊維においては前期が▲55.6 ポイントであったが、今期は▲50.0 ポイントと横ばい傾向となったが、来期は▲20.0 ポイントと回復の見通しを示している。その他製造業においては、前期▲21.4 ポイントから今期は 0.0 ポイント回復傾向となり、来期は更に回復見込みであることが伺える。

非製造業については、建設業が前期▲25.0 ポイントから今期▲21.4 ポイントと横ばい傾向だが、来期は▲15.4 ポイントと回復の予測が伺える。小売については今期 0.0 ポイントと回復、来期▲25.0 ポイントと悪化見通し、卸売は前期より悪化となっているが、来期は回復の見込み、サービス業は 5.9 ポイント回復となっており、更に来期も横ばいの見込みではあるが、まだ総じて依然厳しい状況が続いていることが伺える。

(1)-3 年代別の推移





(単位:DI)

区分	今期(H28.12)			来期(H29.3)			備考
	小松地区	北陸三県	全国	小松地区	北陸三県	全国	
製造業	▲ 5.9	13	4	↗ 0.0	↘ 2	↘ 1	34社
非製造業	▲ 15.2	6	9	↗ ▲ 8.9	↘ ▲ 3	↘ 4	46社
全体	▲ 11.3	9	7	↗ ▲ 5.1	↘ ▲ 1	↘ 2	80社

※北陸三県並びに全国の数値は 日銀金沢支店・短観(全国企業短期経済観測調査)より

(2)－(5)売上高、売上単価、資金繰り、採算性(経常利益) DI一覧表

今期(H28年度第3四半期)の状況

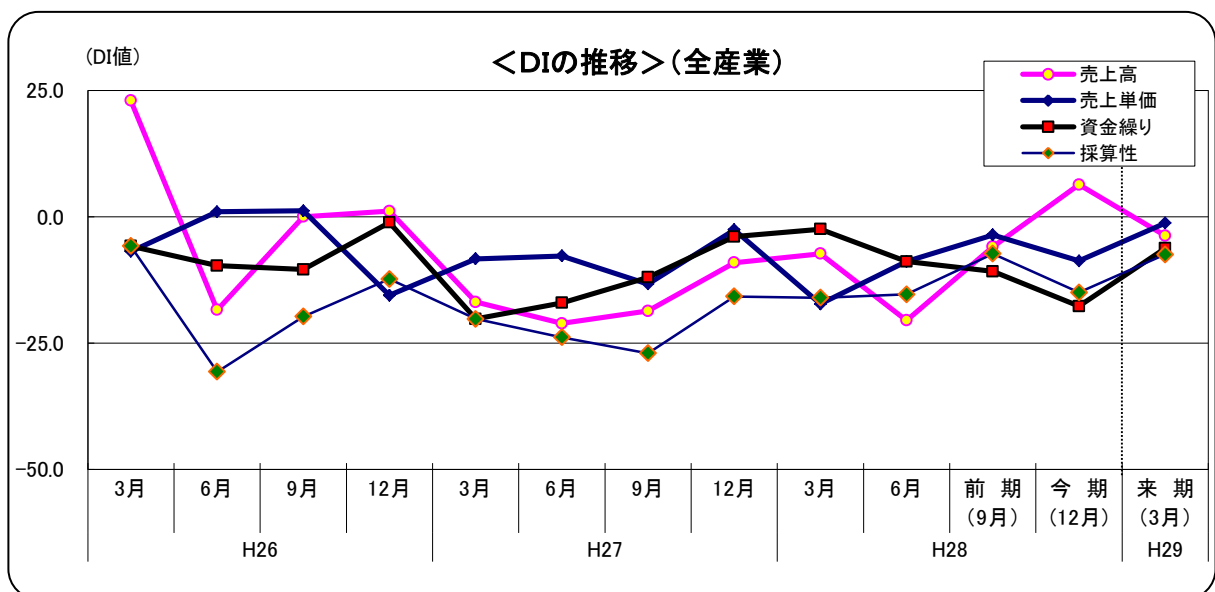
(単位:DI)

業種	売上高		売上単価		資金繰り		採算性	
	小松	県内	小松	県内	小松	県内	小松	県内
製造業	17.6	21.3	▲ 8.8	▲ 5.8	▲ 23.5	▲ 3.9	▲ 5.9	2.6
建設業	▲ 15.4	▲ 12.3	▲ 14.3	▲ 6.5	▲ 23.1	▲ 6.6	▲ 35.7	▲ 8.4
小売業	25.0	▲ 10.2	50.0	▲ 14.3	0.0	▲ 12.2	25.0	▲ 18.4
卸売業	▲ 37.5	▲ 7.0	12.5	0.0	▲ 25.0	▲ 7.0	▲ 25.0	▲ 4.7
サービス業	15.0	▲ 10.4	▲ 25.0	▲ 11.4	▲ 5.0	▲ 3.8	▲ 20.0	▲ 18.7
全体	6.3	0.2	▲ 8.8	▲ 7.6	▲ 17.7	▲ 5.7	▲ 15.0	▲ 7.8

来期(H28年度第4四半期)の見通し

(単位:DI)

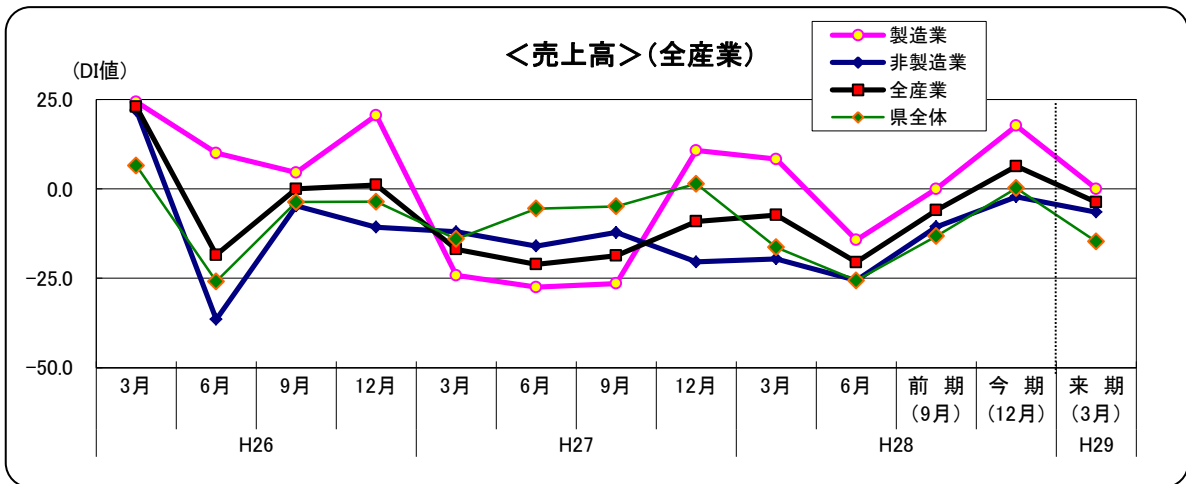
業種	売上高		売上単価		資金繰り		採算性	
	小松	県内	小松	県内	小松	県内	小松	県内
製造業	0.0	▲ 9.2	▲ 5.9	▲ 8.5	▲ 5.9	▲ 5.9	▲ 2.9	▲ 9.2
建設業	▲ 21.4	▲ 17.5	▲ 7.7	▲ 10.7	▲ 14.3	▲ 14.4	▲ 28.6	▲ 15.4
小売業	▲ 25.0	▲ 33.3	25.0	▲ 10.4	0.0	▲ 6.3	0.0	▲ 14.6
卸売業	12.5	▲ 11.9	25.0	2.3	0.0	▲ 2.3	▲ 12.5	▲ 9.3
サービス業	0.0	▲ 12.7	▲ 5.0	▲ 8.9	▲ 5.0	▲ 6.0	0.0	▲ 14.6
全体	▲ 3.8	▲ 14.7	▲ 1.3	▲ 8.3	▲ 6.3	▲ 7.6	▲ 7.5	▲ 12.4
改善予測 (今回)	▲ 10.1	▲ 15.0	7.5	▲ 0.6	11.4	▲ 1.9	7.5	▲ 4.6
改善予測 (H28.9)	8.5	11.1	6.1	2.9	5.7	▲ 0.7	4.7	3.5
改善予測 (H28.6)	15.4	13.5	▲ 1.5	3.3	0.3	▲ 2.7	7.5	5.7



(2) 売上高

(単位:DI)

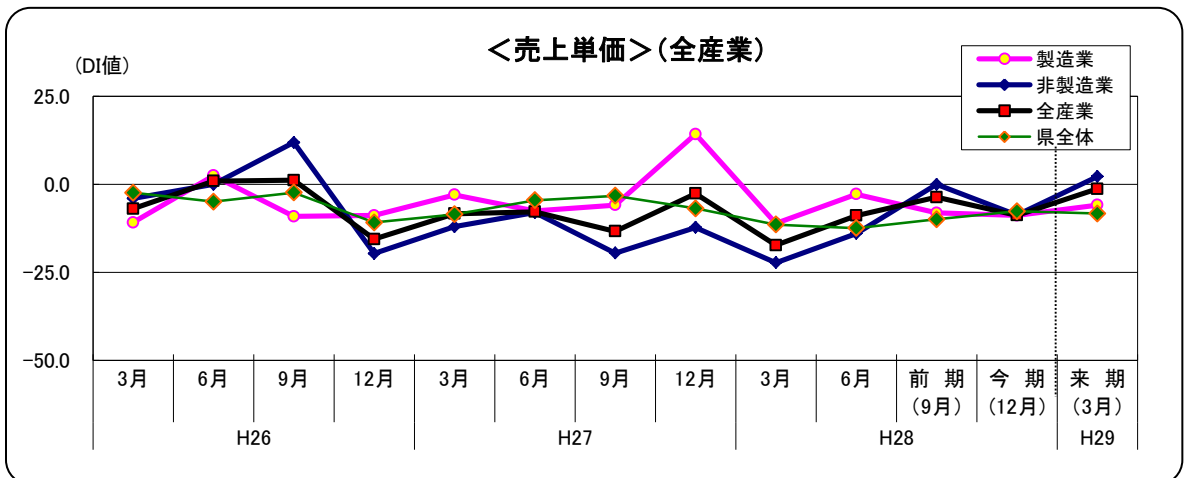
	製造業				非製造業					全産業	県内
	鉄工・機械	繊維	その他	製造計	建設業	小売業	卸売業	サービス業	非製造計		
来期	23.1	▲ 30.0	0.0	0.0	▲ 21.4	▲ 25.0	12.5	0.0	▲ 6.5	▲ 3.8	▲ 14.7
今期	53.8	▲ 20.0	9.1	17.6	▲ 15.4	25.0	▲ 37.5	15.0	▲ 2.2	6.3	0.2
前期	21.4	▲ 55.6	14.3	0.0	▲ 25.0	▲ 40.0	33.3	▲ 11.8	▲ 10.6	▲ 6.0	▲ 13.2



(3) 売上単価

(単位:DI)

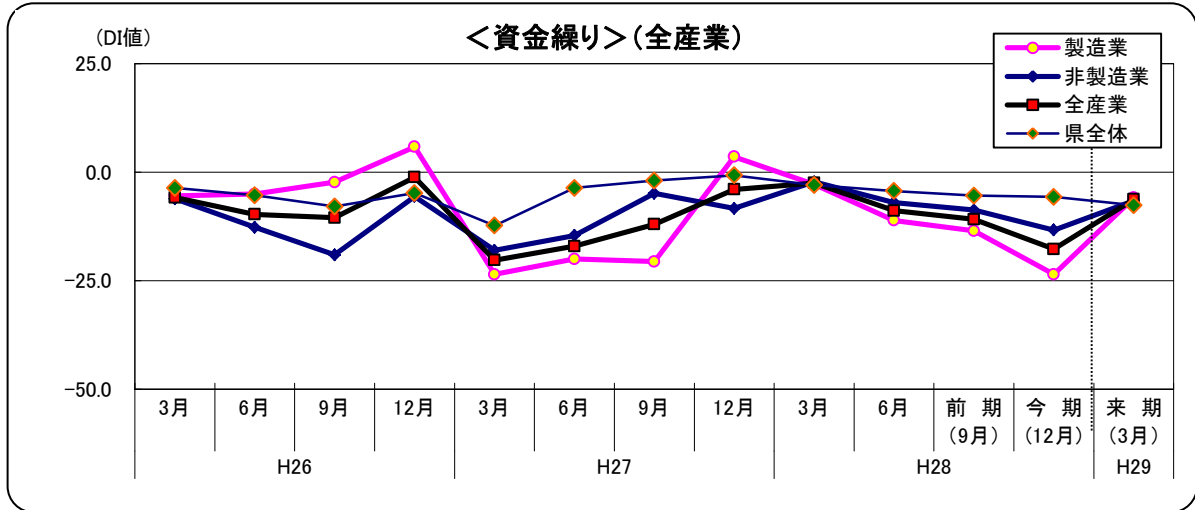
	製造業				非製造業					全産業	県内
	鉄工・機械	繊維	その他	製造計	建設業	小売業	卸売業	サービス業	非製造計		
来期	7.7	0.0	▲ 27.3	▲ 5.9	▲ 7.7	25.0	25.0	▲ 5.0	2.2	▲ 1.3	▲ 8.3
今期	▲ 15.4	0.0	▲ 9.1	▲ 8.8	▲ 14.3	50.0	12.5	▲ 25.0	▲ 8.7	▲ 8.8	▲ 7.6
前期	▲ 14.3	11.1	▲ 14.3	▲ 8.1	0.0	▲ 20.0	22.2	▲ 5.9	0.0	▲ 3.6	▲ 9.9



(4) 資金繰り

(単位:DI)

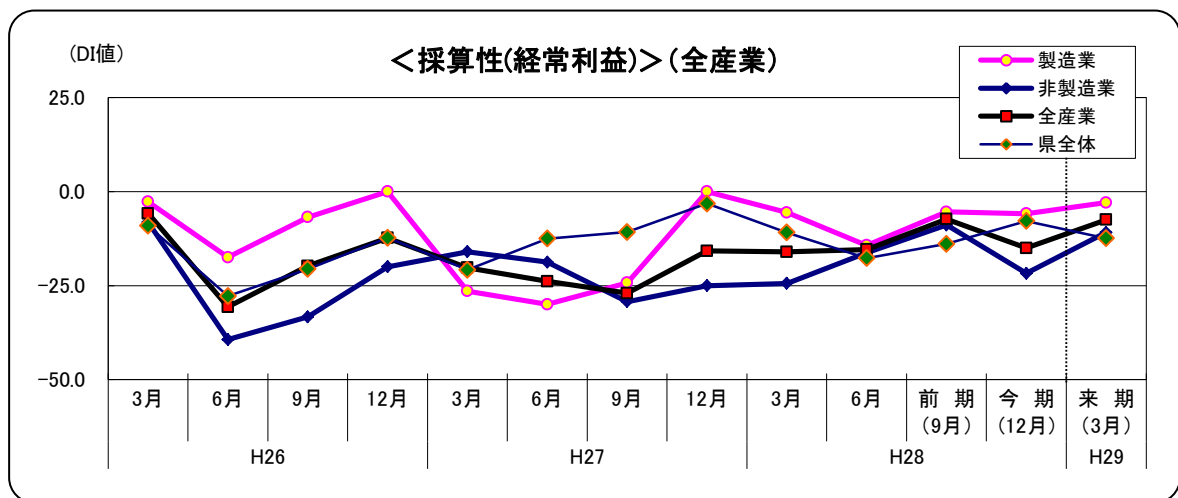
	製造業				非製造業					全産業	県内
	鉄工・機械	繊維	その他	製造計	建設業	小売業	卸売業	サービス業	非製造計		
来期	7.7	▲ 20.0	▲ 9.1	▲ 5.9	▲ 14.3	0.0	0.0	▲ 5.0	▲ 6.5	▲ 6.3	▲ 7.6
今期	▲ 15.4	▲ 50.0	▲ 9.1	▲ 23.5	▲ 23.1	0.0	▲ 25.0	▲ 5.0	▲ 13.3	▲ 17.7	▲ 5.7
前期	▲ 21.4	▲ 11.1	▲ 7.1	▲ 13.5	▲ 20.0	0.0	▲ 11.1	0.0	▲ 8.7	▲ 10.8	▲ 5.4



(5) 採算性(経常利益)

(単位:DI)

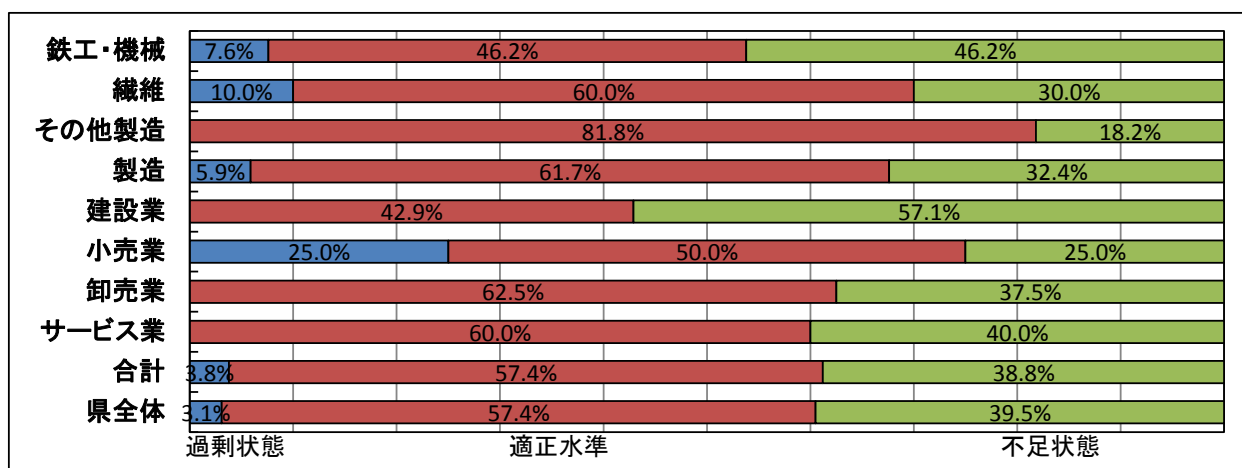
	製造業				非製造業					全産業	県内
	鉄工・機械	繊維	その他	製造計	建設業	小売業	卸売業	サービス業	非製造計		
来期	7.7	▲ 20.0	0.0	▲ 2.9	▲ 28.6	0.0	▲ 12.5	0.0	▲ 10.9	▲ 7.5	▲ 12.4
今期	30.8	▲ 40.0	▲ 18.2	▲ 5.9	▲ 35.7	25.0	▲ 25.0	▲ 20.0	▲ 21.7	▲ 15.0	▲ 7.8
前期	0.0	▲ 33.3	7.1	▲ 5.4	▲ 14.3	▲ 20.0	22.2	▲ 17.6	▲ 8.9	▲ 7.3	▲ 13.9



雇用情勢

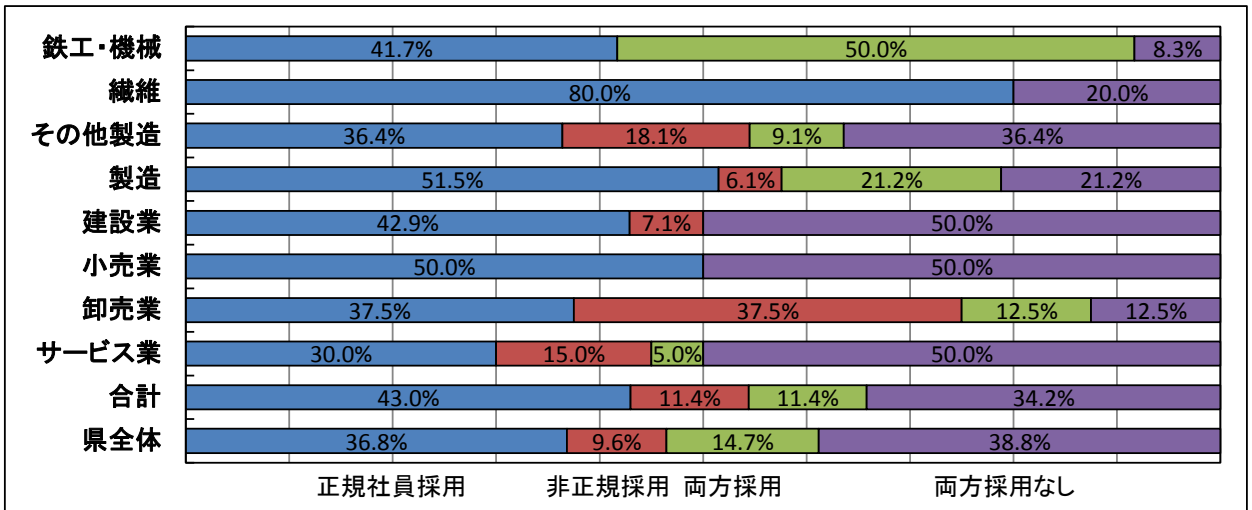
1. 現在の雇用状況については、どの状態と思われますか。

	過剰状態		適正水準		不足状態	
	小松	県内	小松	県内	小松	県内
鉄工・機械	7.7%		46.2%		46.2%	
繊維	10.0%		60.0%		30.0%	
その他製造	0.0%		81.8%		18.2%	
製造業	5.9%	3.2%	61.7%	62.3%	32.4%	34.4%
建設業	0.0%	2.8%	42.9%	49.5%	57.1%	47.7%
小売業	25.0%	4.2%	50.0%	70.8%	25.0%	25.0%
卸売業	0.0%	2.3%	62.5%	67.4%	37.5%	30.2%
サービス業(運輸含む)	0.0%	2.8%	60.0%	48.1%	40.0%	49.1%
全体	3.8%	3.1%	57.4%	57.4%	38.8%	39.5%



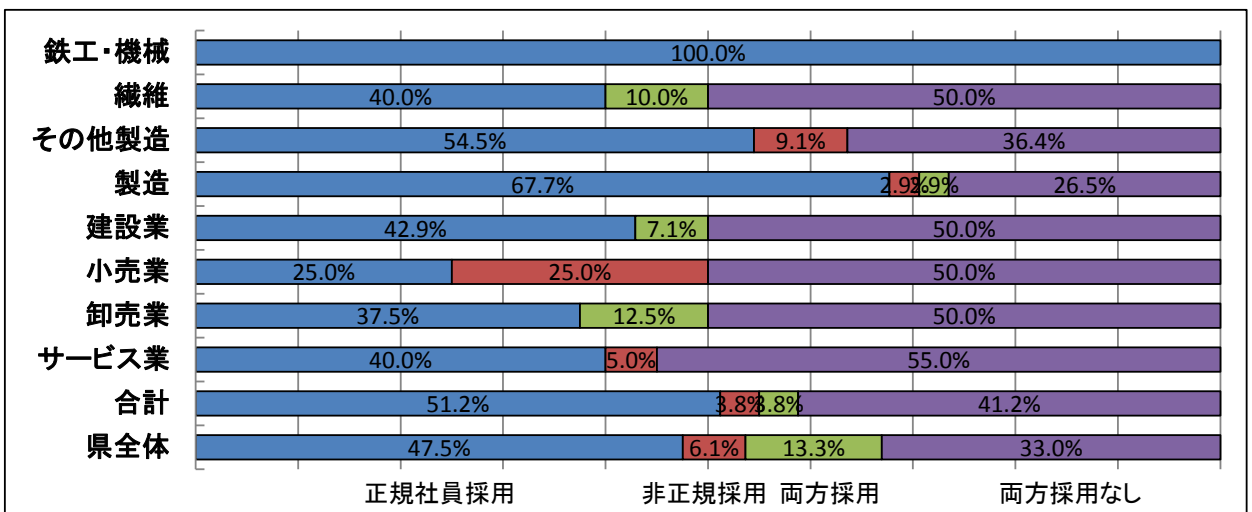
2. 今年度に社員の中途採用を行いましたか。

	正規社員採用		非正規社員採用		両方を採用		両方の採用なし	
	小松	県内	小松	県内	小松	県内	小松	県内
鉄工・機械	41.7%		0.0%		50.0%		8.3%	
繊維	80.0%		0.0%		0.0%		20.0%	
その他製造	36.4%		18.1%		9.1%		36.4%	
製造業	51.5%	41.6%	6.1%	8.4%	21.2%	22.1%	21.2%	27.9%
建設業	42.9%	36.5%	7.1%	4.8%	0.0%	6.7%	50.0%	51.9%
小売業	50.0%	31.3%	0.0%	2.1%	0.0%	8.3%	50.0%	58.3%
卸売業	37.5%	40.9%	37.5%	15.9%	12.5%	18.2%	12.5%	25.0%
サービス業(運輸含む)	30.0%	31.1%	15.0%	17.0%	5.0%	13.2%	50.0%	38.7%
全体	43.0%	36.8%	11.4%	9.6%	11.4%	14.7%	34.2%	38.8%



3. 来年度(平成 29 年 4 月)に社員の雇用を予定していますか。

	正規社員採用予定		非正規社員採用予定		両方を採用予定		両方の採用予定なし	
	小松	県内	小松	県内	小松	県内	小松	県内
鉄工・機械	100.0%		0.0%		0.0%		0.0%	
繊維	40.0%		0.0%		10.0%		50.0%	
その他製造	54.5%		9.1%		0.0%		36.4%	
製造業	67.6%	56.2%	2.9%	4.6%	2.9%	12.4%	26.5%	26.8%
建設業	42.9%	51.9%	0.0%	2.8%	7.1%	8.5%	50.0%	36.8%
小売業	25.0%	28.6%	25.0%	12.2%	0.0%	10.2%	50.0%	49.0%
卸売業	37.5%	56.8%	0.0%	2.3%	12.5%	18.2%	50.0%	22.7%
サービス業(運輸含む)	40.0%	35.2%	5.0%	10.5%	0.0%	19.0%	55.0%	35.2%
全体	51.2%	47.5%	3.8%	6.1%	3.8%	13.3%	41.2%	33.0%



Q「雇用情勢」の項目における来年度(平成 29 年 4 月)の雇用予定に関する意見

①正規社員の雇用を予定

定期(新入社員)採用のため(製造・小売・卸・サービス業)
一人欠員が出そうなので、補充したい(製造業)
退職がおり、補充の必要がある(製造・サービス業)
需要をみながら人数を決めたい(製造業)
派遣社員で対応しているが雇用が安定しないため(製造業)
高校生、短大生の採用を求人により決定済。退職者等をみこした採用(製造業)
高卒男子 3、高卒女子 2、高専 1、大卒 1 採用。毎年採用することで、人員構成の平準化を図る為 (製造業)
年輩の人の変わりを予定している(製造業)
労働時間の短縮が必要(製造業)
有給消化増、時間外勤務の削減への対応(製造業)
不足状態と将来に向けての人材確保(建設業)
人手不足(現場)による若手の増員(建設業)
ハローワークとかに募集しているがいない(建設業)
平成 29 年 4 月高校新卒者 2 名入社予定(建設業)
4/1 入社予定(内定者 12 名)(小売業)
企業継続のため、毎年採用している(卸売業)
人員不足(サービス業)
従業員の高齢化が進んでいる為、新卒を採用したい(サービス業)

③正規社員、非正規社員の両方を雇用予定

採用に応募者がいないので(建設業)
従業員の高齢化が進み、業種的にも常に人手不足(小売・卸売業)

④どちらも雇用を予定していない

現在は適正な状態(製造・建設・サービス業)
専門職を中途採用した(製造業)
過剰状態(製造業)
先の見通しが見つからない(製造業)
社員の人数不足は続いているが、人員の予定者がいない(建設業)
悪化の予想(小売業)
前年度と変わらない(サービス業)
機械導入を予定している(サービス業)
人件費圧縮(サービス業)
社員は不足していないが、パート・アルバイトが不足(サービス業)

今期(第3四半期)直面している経営上の問題点(複数回答可)

	鉄工・機械	繊維	その他	建設業	小売業	卸売業	サービス業
競争の激化	4.2%	9.1%	7.1%	8.3%	0.0%	15.4%	16.7%
仕入単価の上昇	12.5%	0.0%	14.3%	8.3%	27.3%	23.1%	8.3%
経費の増加	24.9%	18.2%	21.5%	12.5%	27.3%	7.6%	8.3%
販売単価の低下・上昇難	4.2%	9.1%	7.1%	4.2%	9.1%	23.1%	16.7%
金利負担の増加	4.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
事業資金の借入難	4.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
需要の停滞、売上の減少	12.5%	54.5%	14.3%	16.7%	18.1%	15.4%	16.7%
従業員の確保難	29.1%	9.1%	21.5%	37.5%	9.1%	15.4%	22.2%
後継者の育成・確保	4.2%	0.0%	7.1%	12.5%	9.1%	0.0%	8.3%
その他	0.0%	0.0%	7.1%	0.0%	0.0%	0.0%	2.8%

	小松		県内
従業員の確保難	31社	23.2%	22.8%
需要の停滞、売上の減少	25社	18.8%	19.2%
経費の増加	21社	15.8%	14.2%
仕入単価の上昇	16社	12.0%	10.4%
販売単価の低下・上昇難	14社	10.5%	11.0%
大企業の進出や過当競争による競争の激化	13社	9.8%	9.4%
後継者の育成・確保	9社	6.8%	10.6%
その他	2社	1.5%	1.2%
事業資金の借入難	1社	0.8%	0.8%
金利負担の増加	1社	0.8%	0.2%

Q「経営上の問題点」の項目における「10. その他」の意見

物量の変動対応 (製造業)

Q具体的な問題点

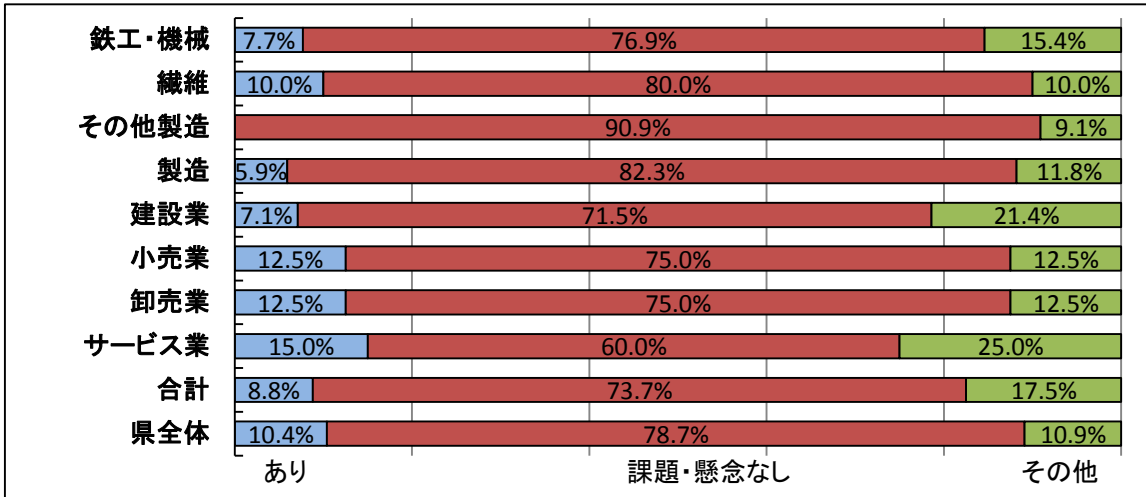
従業員・外部応援の確保に苦慮＝定着率不良。(製造業)
外部応援者受入のため、経費増(居住、駐車場、人件費等)(製造業)
バス増産のため、人員不足(製造業)
受注増加に対する労働力確保が課題(製造業)
大卒理系男子の採用が難しくなっている(応募者の減少)(製造業)
生産の変動が大きく、短納期の受注が増加したため、残業が増え経費が増加した(製造業)
受注の変動幅が徐々に拡大している(製造業)
人員増加に伴う固定費が増加している(製造業)
技術者や職人の後継者が見当たらない。絵付けやロクロ、鑄込みの仕事をする人の高齢化で、もう5年したら大変な状況となりそう(製造業)
住宅着工件数は増加しているが、屋根材が多様化してきており、瓦の割合が減少している。品質を落とす事なく県内外で営業活動を継続していく(製造業)

上昇する気配があるので、早期の材料発注、メーカーとの情報交換（製造業）
業績目標達成に向けて予定管理を徹底（製造業）
これから仕入単価が高くなっていくだろう。でも少しずつ景気も回復してくるだろう（製造業）
内地が悪いので輸出が出来ないかどうか探る（製造業）
何とか、新規の得意先を開拓したい（製造業）
非衣料分野の拡大（製造業）
衣料用内需不振。新商品開発及び新規用途開拓（製造業）
売上の減少による在庫増。売れ筋製品の開拓、生産販売、品質の向上、生産を減らし在庫調整。 (製造業)
経費の見える化を、社員の意識改革に努めていく（製造業）
建設業全体としての、若手の人材不足（建設業）
技術者不足（建設業）
対応策なし（建設業）
我々下請企業として生活している者にとっては、今の単価では社員に対して十分な事をしてやれないのが原因、単価の上昇しかない（建設業）
人口減による、販売低下（小売業）
人件費の経費の増加（小売業）
人材確保が最大の課題（小売業）
なるようにしかならないので、それに対応していくしかない（卸売業）
高炉、電炉問わず鉄鋼メーカーの強力な値上げ実施が始まっている。それに対してユーザーに価格の転嫁が未だ進められない（卸売業）
原油価格の高騰と円安（小売・卸・サービス業）
ネットによる価格競争。ネットの活用による新規需要の獲得（サービス業）
適正利潤の確保（自社メンテナンスの向上）自社元請工事の受注増（サービス業）
人手不足のため、縮小経営している（サービス業）
バス運転手の不足（サービス業）
求人情報誌に掲載（サービス業）
低金利競争（サービス業）
カニ、のどぐろ等、観光性の高いものが高価格（サービス業）

改正個人情報保護法への対応について

個人情報保護委員会より「個人情報の保護に関する法律についてのガイドライン」が本年11月30日に公示されました。改正個人情報保護法は、平成29年春頃に全面施行される予定です。改正への対応等について、貴社に課題や懸念される点がありますか。

	課題・懸念あり		課題・懸念なし		その他	
	小松	県内	小松	県内	小松	県内
鉄工・機械	7.7%		76.9%		15.4%	
繊維	10.0%		80.0%		10.0%	
その他製造	0.0%		90.9%		9.1%	
製造業	5.9%	10.5%	82.3%	77.8%	11.8%	11.8%
建設業	7.1%	6.7%	71.5%	84.8%	21.4%	8.6%
小売業	12.5%	10.4%	75.0%	79.2%	12.5%	10.4%
卸売業	12.5%	9.8%	75.0%	85.4%	12.5%	4.9%
サービス業(運輸含む)	15.0%	14.6%	60.0%	70.9%	25.0%	14.6%
全体	8.8%	10.4%	73.7%	78.7%	17.5%	10.9%



①課題・懸念あり

「個人情報」や「個人データ」等の適正な利用方法や管理について実施。正しい行為なのか問題になる方法なのか区別がつかない（卸売業）
 各種の管理すべきデータの対象が増え対応が大変（サービス業）
 理解不足（サービス業）

②課題・懸念なし

対応に変更はない（小売業）

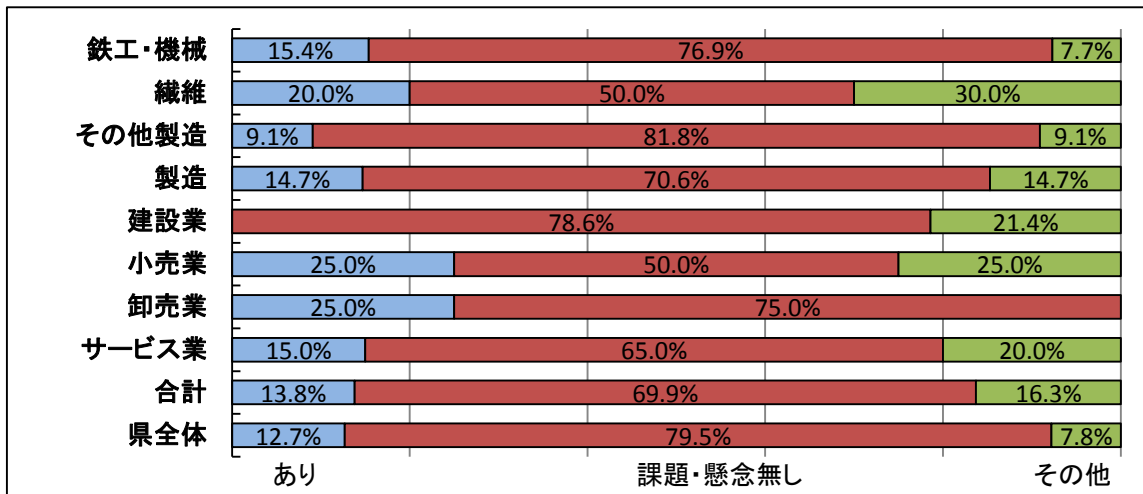
③その他

現在のところわからない（製造、サービス業）

改正育児・介護休業法、改正男女雇用機会均等法への対応について

来年1月1日には、改正育児・介護休業法、および、改正男女雇用機会均等法が施行され、育児・介護・雇用等について、事業者には更なる配慮が求められることとなります。改正への対応等について、貴社に課題や懸念される点はありますか。

	課題・懸念あり		課題・懸念なし		その他	
	小松	県内	小松	県内	小松	県内
鉄工・機械	15.4%		76.9%		7.7%	
繊維	20.0%		50.0%		30.0%	
その他製造	9.1%		81.8%		9.1%	
製造業	14.7%	11.8%	70.6%	79.1%	14.7%	9.2%
建設業	0.0%	8.6%	78.6%	83.8%	21.4%	7.6%
小売業	25.0%	13.3%	50.0%	82.2%	25.0%	4.4%
卸売業	25.0%	21.4%	75.0%	76.2%	0.0%	2.4%
サービス業(運輸含む)	15.0%	14.4%	65.0%	76.0%	20.0%	9.6%
全体	13.8%	12.7%	69.9%	79.5%	16.3%	7.8%



①課題・懸念あり

産休は長期であり、仕事は待ってくれない（製造業）
人件費が高くなると、雇用人数を減らさなければならない（製造業）
交替要員の確保（製造業）
対応のため十分な人材確保が必要である（小売業）
人手不足（小売・卸売業）
現在対象者はいないが、申し出があった時の対応が、今いる社員数で問題ないか不安（卸売業）
介護休暇 93 日とは別に 3 年間短時間勤務が取得できるので、取得者が出た場合の人員確保が懸念される（サービス業）
現在最低限の適正人数であるため、欠勤による人員の補充が難しくなると思う。幸いに現在該当する社員はいないので長期的に対応を考えなければならない（サービス業）
零細企業には大変です（サービス業）

②課題・懸念なし

社内規則を改訂し、対応する（製造業）
29.1.1 改正に伴い、規程他対応中（製造業）
わからない。少人数故に考えていない（建設業）

③その他

現在のところわからない（製造、サービス業）

■ その他、景気全般に関してご意見をお聞かせ下さい。

内需不振。グローバル化（製造業）
やや上向いているが、今後も不確実性が続くと思う（製造業）
バス需要が何時まで続くか予定できないので設備最小限にする（製造業）
景気の上昇感はいまだに実感することはない（製造業）
消費の拡大を計るには、低所得者が物を買えるようにすること。雇用の拡大、所得の向上が必要ですが（製造業）
金沢を中心に県内は、まあまあ良いように思う（製造業）
アメリカ次期大統領就任及び TPP 動向により建機需要予測の見通しは？（製造業）

油、金属類が高くなってきている。景気もよくなってくるだろう（製造業）
とにかく国内の需要が少ない（製造業）
見えない（建設業）
アベノミクスは地方都市には波及効果がない。石川県ではなく金沢県になりつつある（小売業）
地域景気は自ら創造するものである原点を持つ事である（小売業）
何の為の質問かわからない。パツとしないで、回答になるのか（卸売業）
大企業は良いと聞いているが、我々中小企業には恩恵がない（サービス業）
アメリカ次第で、小松全体のこととも変化がありそう（サービス業）
会社のお客様が少なく、よくないのでは（サービス業）
まだまだだが、一部はよいみたい（サービス業）
引き続き、災害復興、オリンピックの特需が旺盛であり、物量は増加している（サービス業）

■ 商工会議所へのご意見・ご要望などがございましたら、お聞かせ下さい。

①従業員確保について、情報の開示、共有化をお願いしたい（製造業）
②ものづくり企業が多い当地区なので、製造業企業のトップ講演が、会議所主催でもっとあってもおもしろいのではないかと（製造業）
③新規に参入された業者様の傾向を知りたい（製造業）
④小松市のステータスを上げること。商業の活性化（小売業）
⑤新しい事に取り組む意識を上げるための研修会とバックUP支援策を考える。ビジネスマッチング等も一考する（小売業）
⑥人材は量から質へと変化していく昨今、人材育成が必要になろう（サービス業）

会議所コメント：

① ハローワーク小松やジョブカフェ石川加賀サテライト等と連携を取りながら、会員事業所のご要望にお応えすべく対応して参ります。

③本所会報による企業紹介や、インターネット上で殆どの会員企業をご紹介します「ザ・ビジネスモール」をお役立て下さい。

②④⑤⑥

時代が求める商工会議所となるよう鋭意努力をし、会員事業所が求めるサービス向上とともに、地域に根差した事業等を展開して参ります。

国・県・市各種助成金・補助金等の説明会を随時企画・実施し、会報・HPにて周知して会員事業所への情報提供を進めて参ります。